

永青文庫所蔵 古文書セミナー

永青文庫は、約5万8千点に及ぶ歴史資料を所蔵しています。なかには、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康など天下人が細川家に発給した文書「御家の資料」や、熊本藩を統治していた時代に蓄積された「藩庁史料」など、歴史を語るうえで欠かせない文書類が多数含まれています。そうした資料の魅力を発信するため、2018・2019年度の2年にわたり、永青文庫では古文書セミナーを開催いたします。2020年の大河ドラマの主人公・明智光秀や、細川忠興に嫁いだ光秀の娘・ガラシャ、小倉藩における葡萄酒造りの実態、明治維新期の細川家の甲冑の行方など、様々なテーマで最新の研究をご紹介します。1回のみのご参加も可能です。ぜひ、この機会にご応募ください！

2018年度

第1回	9月23日(日)	永青文庫資料から読み解く「新・明智光秀論」 講師：稲葉継陽 氏(熊本大学永青文庫研究センター長)
第2回	10月13日(土)	「細川ガラシャ」像の形成 講師：山田貴司 氏(熊本県立美術館学芸課参事)
第3回	2019年 1月26日(土)	細川家と天下人—織田信長からの手紙を読む 講師：稲葉継陽 氏(熊本大学永青文庫研究センター長)

2019年度(予定)

第4回	1620年代 細川家の葡萄酒製造とその背景 講師：後藤典子 氏(熊本大学永青文庫研究センター特別研究員)
第5回	細川家歴代当主の甲冑と明治維新 講師：今村直樹 氏(熊本大学永青文庫研究センター准教授)
第6回	細川幽斎—「古今伝授」と「天下統一」 講師：稲葉継陽 氏(熊本大学永青文庫研究センター長)

お申込み方法

2018年9月1日(土)10:00より、第1回~3回の講座分を
電話 03-3941-0850 にて先着順に受付

[時間] 13:30~15:00

[会場] 肥後細川庭園
松聲閣(東京都文京区
目白台1-1-22)

[定員] 各回40人
(先着順。定員に達し
次第受付を終了。)

[参加費] 各回1000円
(友の会会員800円)

